

科目名称:	英語コミュニケーションⅠ (ビジネス実務学科)	
担当者名:	ガート・ウエスタハウト	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>これからの時代、将来どのような仕事に就いても英語を話したり聞いたりする機会があるでしょう。仕事で英語を使わないという人でも、海外旅行に行くときや町で外国人の人と会話するときなど、様々な場面で英語を使うことがあると思います。みなさんには中学、高校と英語を学んできた実績があります。今まで学んだことを思い出しながら、英語が得意でない人も、英会話に自信がない人も、必要な時に使えるように英語の基礎をしっかりと学びます。準備学習としては、英語の基礎があれば大丈夫です。このクラスは上級・中級です。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>必要な場面で英語が使えるように、英語の基礎を修得します。</p>		

基礎教育科目	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	重点項目
DP (1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP (3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP (1)		45		55	100
全学DP (2)					0
全学DP (3)					0
全学DP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容 (内容・経験年数を記載)	
なし		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
知識	教材の内容をよく読み、理解することができる	教材をゆっくり読むことができる。ある程度理解できる。	わからないことを調べながら ゆっくり読むことができる。	教材をあまり読めず、理解もできていない
理解の視点と表現	自信を持ってわかりやすく表現することができる	促されると自分の言葉で表現することができる	自信はないが表現ができ、すべての約束事は守れる	発表もできず、約束も時間もルーズ。
学びへの積極性	質問や意見など、講義内で毎回1回以上発言できる	質問や意見など、講義内でたびたび自発的に表現できる	質問や意見など、時々表現できる	講義に対して、聞く気がなく、居眠り、私語などがある

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 Introduction, classroom English	read this syllabus	10分
第2回 past tense, childhood	collect childhood facts	45分
第3回 childhood games and songs	begin childhood essay	45分
第4回 elementary language	continue essay	45分
第5回 Quiz 1, essay presentation	prepare presentation	45分
第6回 junior high school days	collect junior and senior high facts	45分
第7回 academics	begin junior and senior high essay	45分
第8回 clubs	continue essay	45分
第9回 movies, music	continue essay	45分
第10回 Quiz 2, essay presentations	prepare presentation	45分
第11回 college life	collect college facts	45分
第12回 academics	begin college and dream essay	45分
第13回 workplaces, part time and full time	continue college and dream essay	45分
第14回 Quiz 3; essay presentations	prepare presentation	45分
第15回 Final presentations; summary	feedback	45分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリントをまとめたり、プレゼンテーションの準備をしたりすることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
クイズ3回 @ 15% (45) ; 発表 3回 @15% (45) ; 参加力@10% (10) = 100%

課題に対するフィードバック

発表資料の下書きと最終版についてコメントする。学期中には学生の進捗を確認し、支援が必要な場合は対応する。

教科書・参考書

プリントのみ